

宝登山で「冬の動植物」を観察しながら講師と一緒に登ろう！

蠟梅や冬鳥を確認し、ゴミ拾いしよう。

目的：埼玉県山域の自然環境を知り、守りながら親しむ。

日時：2026年1月10日（土）午前9時45分～

集合：秩父鉄道 長瀬駅 改札口 9時30分

会場：宝登山 コース：登山口～山頂までの往復

天気：快晴 最高気温：14℃

参加者：合計22名（2山岳会 16名、スタッフ5名、講師1名）



ナラ枯れの前で講義

毎年11月恒例の自然観察会ですが、70周年記念行事と重なり、今回は1月に「冬の動植物」を観察することにしました。

秩父鉄道長瀬駅に着くと講師の大石先生はすでに到着していました。お天気は冬の寒さが気になっていましたが、風もなく真っ青な空の素晴らしい快晴に恵まれました。本日の予定説明に続き、講師のご紹介後、10:00 皆さん一緒に歩き始めました。

- 登山口までの往路樹（桜の木）にフラス（木くず）を見ると早速講義が始まりました。クビアカツヤカミキリの被害による害虫の糞だそうです。
- 登山口周辺の木々を飛び回る小鳥がたくさんいました。エナガ鳥、シジュウカラ、ヤマガラなど異なる鳥が群れることを混群（小さな鳥が天敵から早く見つける）という事を初めて知りました。
- 途中に最近クマ情報（猟師がクマの爪痕を見つけた）あり、ここでも出没か？と少し不安になる。…「埼玉クマ出没マップ」を検索してみてください。
- 木に下がっている綺麗な緑色の「ヤママユ科の繭」を、先生の目にはすぐ見つかるが、皆さんは見つけるのが大変でした。

いろいろな話を聞きながら2時間かけ山頂に12:00に到着、ここで昼食としました。とても暖かく両神山、武甲山の山並みがはっきり見えました。そして時期的にはまだ早いと思っていましたが、「蠟梅の花」が見られて良かったです。

- 昼食後山頂にあるナラ枯れの木の前で配布した資料を見ながら、なぜそうなったのかを詳しく説明してくださいました。カシノナガキクイムシの被害です

この後奥の院を回り、下山を開始し、14:00に登山口の「宝登山神社」につきました。ここで参加者皆さんとはいったん解散し、神社見学、帰宅、その他の見学などに分かれて本日の「自然観察会」を終了いたしました。綺麗と見える登山道にもゴミが少しありました。

何度も来ている宝登山でも見過ごしている木々、葉、鳥など冬でも動植物の観察でき、今一度注意深く知り、自然を少しでも理解することも保護に繋がると考えます。

記：自然保護委員会 委員長 千葉弓子



宝登山山頂にて



蠟梅の花



ゴミ拾い